金属の国市・伊豆市共同では、中豆の国市・伊豆市共同できる。 変わる田方消防

平成28年2月~ 消防指令センター統合 平成28年4月~新一部事務組合運用開始

> **圆**田方消防本部総務課 **2** 0558-76-2280

私たちのまちを守る田方消防本部(伊豆の国市・伊豆市・

構成市町とする「駿東伊豆消防本部」として、

運営を開始します。

函南町)



定しています。このような大規模な災 県内だけでも10万人を超える死者を想 駿河トラフ・南海トラフ地震。被害は、

近いうちに発生すると言われている

害に、迅速かつ効率的に対応するため、

これまで以上に大きな組織での消防救

急活動が求められています







の署所はそのままの配置になります 令課の

4課からなります。

なお、

予防課、警防救急課および通信指 消防部および警防部の2部と総務 本部業務を、

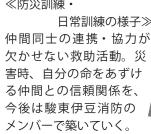
1カ所 (沼津北消防署)

5つの消防本部が行っている

に集約し効率化を図ります。

本部業務

駿東伊豆消防本部の体制





センターとして統合されます。

の運営開始とともに駿東伊豆消防指令 同運用を行い、4月から一部事務組合 いる消防指令センターで、

2月から共

広域化に先立ち、

沼津市に構築して

消防指令センターの統合

(2月から)

皆さんにとって

、ここが変わります!

「伊豆の国市」を最初に 19番通報の際は、

ている1 受け付けることになります。 防本部の通信指令センターで受け付け している駿東伊豆消防指令センターで 共同運用開始に伴い、 19番通報は、 現在、 沼津市に構築 田方消

国市 ため、 広がり7市町の通報を一カ所で受ける ど)を伝えることですぐに場所の判別 が可能でしたが、これからはエリアが ため地区名(例:南條・古奈・田京な これまでは、 と伝えてください 通報時には発生場所に 田方地域のみの管轄

田方消防」 消防車や救急車が市内に出動 以外の

内でも田方消防以外の消防車や救急車 の出動体制となります。 新消防指令センター 災害出動体制を駿東伊豆消防本部 -の運用開始に伴 これにより市

が出動する場合があります。

います

を図ります

の大きさのメリットを生

3出動)についても規模

第1方面隊 沼津市・清水町

局次出動(第2出動、

かし、積極的な出動態勢

門的な技術を持った職員の育成や充実

した資器材の配備などが必要とされて

に対して、

いち早く対処するための専

や細菌汚染事故など、多様化する災害

増加傾向にある化学薬品事故

多様化する災害に対応

事務業務などを集約し効率化を図りま 複数の消防本部を統合することで、 その分、現場で活動する職員を増

現場で活躍する隊員を増強

やすことができます

携帯電話のメールで

119番通報 対象/身体障害者手帳の交付を受けている 申込方法/市役所障がい福祉課(大仁庁舎 にある申込用紙に必要事項を記 入のうえ、提出してください。

間市役所障がい福祉課

☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029



4月から「駿東伊豆消防」の看板を掲げる現在の田方消防本部。 今後は、田方管内でも他消防署の緊急車両が出動することも。

は消防本部が一つとなり、 階での体制を整えています。

広域に対応

4月から

地域の消防本部に応援を要請する2段

大規模災害時に備え、現在は、

周辺

大規模災害時に

迅速性がアップ

広域化のメリット

田

中

消

方

消

防

する体制をはじめから整えておくこと

これまで以上に迅速な活動を行う

部隊運用について

轄範囲が広域となること

駿東伊豆消防本部は管

万面ごと3つに分け部隊 から、初動体制は区域を

用を行います。さらに、

第2方面隊 函南町・伊豆の国市・伊豆市

ことができます。

ここは変わりません

19番通報のかけ方

緊急通報は、今までと同様に をダイヤルしてください。 新消防指令センターの運用開始後の

地域の消防団はこれまでどおり

されているので、広域化しても今まで どおり変わりません 消防団は、自治体(市)ごとで組織

